

2019 年度秋学期研究者交流支援制度 報告書

黒川農場 特任講師 甲斐貴光



招聘者氏名：Simplicio Mendoza Medina

所属機関：University of the Philippines Baños

招聘期間：2019 年 12 月 2 日～2019 年 12 月 6 日

2019 年 12 月 2 日から 6 日まで、フィリピン大学ロスバニョス校准教授のシンプリシオ・メディナ博士を招聘して、土壌侵食やアグロフォレストリーに関するシンポジウムおよび教員・学生などとの研究交流を実施した。滞在中に本学黒川農場や山梨県のリンゴ自然栽培地、長野県のリンゴ有機 JAS 認証栽培地を訪問して、リンゴ園の見学や生産者等との意見交換を行った。

12 月 3 日 9:00 – 11:30 黒川農場見学

最初に Medina 博士は、本学黒川農場を視察されました。視察後には、農場教員・学生と研究交流が行われた。視察については、黒川農場のホームページでも紹介しました

(<https://www.meiji.ac.jp/agri/kurokawa/news/6t5h7p00002d30un.html> 「フィリピン大学の研究者が黒川農場を視察しました」)。

12 月 3 日 13:30 – 15:00 特別講演 (生田キャンパス第一校舎 6 号館 206 教室)

The State of Agriculture in The Philippines と題し、主に土壌侵食やアグロフォレストリーに関する講演を行っていただいた。参加者は 10 名であった。講演後、熱心な質問があり白熱した議論が展開された。

12 月 4 日 14:00 – 16:00 山梨県のリンゴ自然栽培地

12 月 5 日 9:00 – 11:00 長野県のリンゴ有機 JAS 認証栽培地

リンゴ園で生産者から栽培方法の説明を受けた後、意見交換を行った。

上記、シンポジウムや視察後の意見交換で、フィリピンにおいて農地土壌の土づくりについて共同研究を行いたいとお話を頂きました。最後に、本機会を提供して頂いた本学国際連携事務室に御礼申し上げます。

